

第611回番組審議会報告

2016年9月6日開催

■出席委員

櫻井美幸委員長 佐藤友美子副委員長 佐藤卓己委員 津村記久子委員
中野健二郎委員 東野博昭委員 丸山雅也委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田取締役 浜田取締役 宮田取締役 山田スポーツ局長 市村プロデューサー 大牟田コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

◆審議事項

テレビ番組「戦え！スポーツ内閣」

2016年7月13日（水）23:58～24:53 放送

について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

*リオオリンピック直前特集として興味深いテーマが多く、楽しく見ることができた。ただ、限られた時間のなかで数多くの競技を取り上げようと欲張り過ぎたため、消化不良感が残った。

*おもしろかったのは、オリンピック代表選手が搭乗する飛行機の座席がビジネスクラスなのかエコノミークラスなのかという話。関西ローカルの番組としては、基本的に「何ぼやねん」ということを押し出していけば盛り上がるのではないか。

*柔道・篠原信一さんの存在感、魅力が際立っていた。

*現役時代に競い合った篠原さんと井上さんの新旧代表監督の対談は、経験者の説得力に満ちた言葉や初めて聞くエピソードなどもあって本当に見応えがあった。ただ、できることならもう少しじっくり見せてほしかった。

*スポーツバラエティのおもしろさは、スポーツ選手が本音を、ふだんあ

まり言わなかったことを正直にしゃべるところ。往々にして番組の作り手は何か物足りないように思って今回のバレーボールのスタジオ実演のように仕掛けを用意するのだが、やはり「話」で押し通したほうがよいと思う。

- *背泳ぎ・入江選手の「変則ツービート」は興味深かった。レギュラー番組になれば、毎週こういう話題が一つあればよい。どんなスポーツでも「皆さん、こうしていると思ってるでしょう。実は違うんです」ということがあるのではないか。そういった“驚き”を伝えてほしい。
- *十種競技は非常に目立たない競技でほとんど見られてないし、放送もあまりしてない。こういう競技を紹介した意義はあったが、時間も中身も不足していた。
- *さまざまなスポーツが五輪の時期だけ見られているというのは本当にもったいない。自分自身、この番組を見て十種競技に興味を持ったのだが、視聴者に多種多様なスポーツを見てみようというきっかけを与える番組であってほしい。
- *番組の最後に、何の脈絡もなく突然、MCが書いた本の紹介をしたのはいただけなかった。本編と関係があればまだしも、全く説明がなくて不親切だった。
- *たくさんのテーマを詰め込み過ぎていた。もう少し厳選したうえで、スポーツに全面的に重点を置くテーマと、それ以外の少しバラエティ的なものとはっきり切り分ける構成にしてはどうか。
- *シンクロナイズドスイミングについて取り上げたテーマは、誰もがある程度想像がつく内容だった。違う視点もあったように思う。
- *スポーツの裏側というか、スポーツ好きな人も意外に知らないことがたくさんある。そういった迫力のある試合映像など、VTRをうまく織り交ぜれば、バラエティとスポーツ番組の中間みたいところで楽しく見ることができるのではないか。

- * サッカー大臣とかバレーボール大臣というのはやや安易な名前のつけ方ではないか。もう少しひねってみると、新たな切り口が出てくるかもしれない。
- * 笑いの要素を加味したため、スポーツ番組としての色合いが少し薄れ、中途半端になった印象だ。スポーツ選手ならではの目線による新しい発見もあったが、スポーツの魅力や醍醐味そのものがはたして十二分に伝わったかどうか。
- * 出演者（各大臣）が互いに質疑応答して、意見を述べ合う、いわゆる「座談」があってもよかった。スポーツ選手が互いにインスパイアされたり、提案したりする、そういった会話を聞きたかった。
- * スポーツ番組は、それをいつ収録してどう放送するのか、ということが大事だ。10月から毎週の放送になったとき、過去の放送素材をうまく使って「あのとき、あんなこと言うてましたけど」などと展開すれば、連続性が出て視聴習慣につながるのではないか。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- * スポーツニュースとか生中継以外の形で、どのようにして視聴者にスポーツ情報を届けるか、試行錯誤してきた結果生まれたのが今回の番組。ことし10月から平日深夜に毎週、レギュラー放送することが決まった。今後に期待してほしい。
- * スポーツバラエティというと、芸人さんがアスリートをおもしろおかしくまわして盛り上がるものがあるが、武井壮さんという、タレントであって、しかも立派なアスリートが司会を務め、アスリート同士でスポーツについてじっくり語り合ってもらうことを狙った。特に今回は、リオオリンピック直前だったので、「ここを見たらオリンピックがおもしろくなる」というポイントを中心に取り上げた。
- * 詰め込み過ぎでは？というご指摘はそのとおり。レギュラー番組になることを見込んでいろいろなパターンを試そうとした結果、1時間の番組

には収まりきらない内容になった。

*収録してから放送までにタイムラグがあることについては、出演者のスケジュールなどの問題もあり、悩ましい問題だが、場合によっては緊急の生放送など柔軟な対応を考えていきたい。

以上